

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 1 区分

【発行日】令和 6 年 1 月 31 日(2024.1.31)

【公開番号】特開 2023-55051(P2023-55051A)

【公開日】令和 5 年 4 月 17 日(2023.4.17)

【年通号数】公開公報(特許)2023-071

【出願番号】特願 2021-164143(P2021-164143)

【国際特許分類】

F 2 1 S 8/02(2006.01)

F 2 1 V 14/02(2006.01)

F 2 1 V 11/16(2006.01)

F 2 1 V 19/02(2006.01)

F 2 1 V 21/30(2006.01)

F 2 1 Y 115/10(2016.01)

10

【F I】

F 2 1 S 8/02 4 1 0

F 2 1 V 14/02 2 0 0

F 2 1 V 11/16

F 2 1 V 19/02 3 0 0

F 2 1 V 21/30 3 1 0

F 2 1 V 21/30 5 0 0

F 2 1 Y 115:10

20

【手続補正書】

【提出日】令和 6 年 1 月 23 日(2024.1.23)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

30

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

枠部、第 1 筒状部材、光源を有する灯体部を備え、前記枠部が板材に形成された埋込孔に取付けられ、前記第 1 筒状部材が前記枠部に着脱自在に支持される照明装置であって、前記第 1 筒状部材は、内周面及び外周面を有するコーン形状の部材であって上端が開口を呈し、

前記灯体部は、前記第 1 筒状部材の延在方向に直交する軸を中心にして直立位置又は最大傾斜位置となるように前記軸に回転自在に取付けられ、

前記灯体部に装着され、前記直立位置において前記第 1 筒状部材の前記外周面に向けて突出する軟性部材とを備える、
照明装置。

40

【請求項 2】

前記灯体部は、前記第 1 筒状部材側に第 2 筒状部材を有し、

前記軟性部材は前記第 2 筒状部材に装着される、

請求項 1 記載の照明装置。

【請求項 3】

前記第 2 筒状部材は側面に孔を呈し、

前記軟性部材には前記孔と対向する位置に突起を有し、

前記突起が前記孔に嵌合する、

50

請求項 2 記載の照明装置。

【請求項 4】

前記軟性部材の下端は、前記最大傾斜位置において、前記第 1 筒状部材の前記外周面に
接触する、

請求項 1 ないし 3 いずれか一項記載の照明装置。

【請求項 5】

前記軟性部材の下端は、前記直立位置において、前記第 1 筒状部材の前記外周面に接触す
る、

請求項 4 記載の照明装置。

【請求項 6】

前記軟性部材は黒色の樹脂で形成される、

請求項 1 ないし 5 いずれか一項記載の照明装置。

【請求項 7】

前記軟性部材は、前記開口に向き合う表面に梨地が施される、

請求項 1 ないし 6 いずれか一項記載の照明装置。

【請求項 8】

前記軟性部材は、略矩形のシート形状である、

請求項 1 ないし 7 いずれか一項記載の照明装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 7】

上記課題を解決すべく、本発明に係る照明装置の第 1 の態様は、枠部、第 1 筒状部材、
光源を有する灯体部を備え、前記枠部が板材に形成された埋込孔に取付けられ、前記第 1
筒状部材が前記枠部に着脱自在に支持される照明装置であって、前記第 1 筒状部材は、内
周面及び外周面を有するコーン形状の部材であって上端が開口を呈し、前記灯体部は、前
記第 1 筒状部材の延在方向に直交する軸を中心にして直立位置又は最大傾斜位置となるよ
うに前記軸に回転自在に取付けられ、前記灯体部に装着され、前記直立位置において前記
第 1 筒状部材の前記外周面に向けて突出する軟性部材とを備える。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 8

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 9】

本発明に係る照明装置の第 2 の態様は、その第 1 の態様であって、前記灯体部は、前記
第 1 筒状部材側に第 2 筒状部材を有し、前記軟性部材は前記第 2 筒状部材に装着される。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 0】

本発明に係る照明装置の第3の態様は、その第2の態様であって、前記第2筒状部材は側面に孔を呈し、前記軟性部材には前記孔と対向する位置に突起を有し、前記突起が前記孔に嵌合する。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

本発明に係る照明装置の第4の態様は、その第1ないし第3の態様のいずれかであって、前記最大傾斜位置において、前記軟性部材の下端は、前記第1筒状部材の前記外周面に接触する。

本発明に係る照明装置の第5の態様は、その第4の態様であって、前記直立位置において、前記軟性部材の下端は、前記第1筒状部材の前記外周面に接触する。

【手続補正8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0013】

本発明に係る照明装置の第6の態様は、その第1ないし第5の態様のいずれかであって、前記軟性部材は黒色の樹脂で形成される。

【手続補正9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0014】

本発明に係る照明装置の第7の態様は、その第1ないし第6の態様のいずれかであって、前記軟性部材は、前記開口に向き合う表面に梨地が施される。

【手続補正10】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0015】

本発明に係る照明装置の第8の態様は、その第1ないし第7の態様のいずれかであって、前記軟性部材は、略矩形のシート形状である。

【手続補正11】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0017

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正12】

【補正対象書類名】明細書

10

20

30

40

50

【補正対象項目名】 0 0 1 8

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 1 8 】

本発明に係る照明装置の第 2 の態様によれば、軟性部材を容易に取付けることができる。

【手続補正 1 3 】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 1 9

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 1 9 】

本発明に係る照明装置の第 3 の態様によれば、軟性部材の取付けを容易に行うことができる。

【手続補正 1 4 】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 2 0

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 2 0 】

本発明に係る照明装置の第 4 の態様によれば、天井裏が視認されることを回避又は抑制することができる。

【手続補正 1 5 】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 2 1

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 2 1 】

本発明に係る照明装置の第 5 の態様によれば、天井裏が視認されることを回避又は抑制することができる。

【手続補正 1 6 】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 2 2

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 2 2 】

本発明に係る照明装置の第 6 の態様によれば、間隙を目立たなくさせることができる。

【手続補正 1 7 】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 2 3

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 2 3 】

本発明に係る照明装置の第 7 の態様によれば、軟性部材での反射光という不要な光を回避又は抑制することができる。

【手続補正 1 8 】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 2 4

【補正方法】 変更

【補正の内容】

10

20

30

40

50

【 0 0 2 4 】

本発明に係る照明装置の第 8 の態様によれば、軟性部材の形成が容易である。また、間隙を覆う程度の大きさに形成すれば良いので、省資源に資する。

【 手 続 補 正 1 9 】

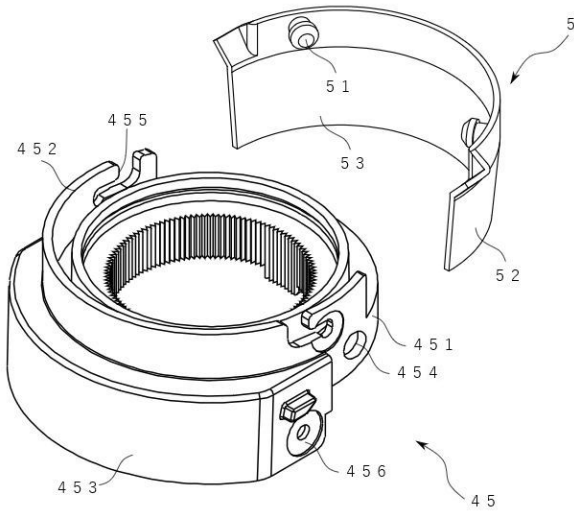
【 補 正 対 象 書 類 名 】 図 面

【 補 正 対 象 項 目 名 】 図 3

【 補 正 方 法 】 変 更

【 補 正 の 内 容 】

【 図 3 】



10

20

30

40

50